

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		はこだて療育・自立支援センター はぐみ				公表日	令和7年2月27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			・基準は満たしていますが、クラスや活動によっては一部工夫する必要があります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・支援の充実のため、クラス担任以外の職員も必要に応じて対応しております。	・職員数は適切に配置していますが、職員の研修、外部との連携業務、休暇などで直接支援に入れない場合に、他の職員が入る際の体制を整えることが必要な状況です。 ・個別の支援内容により、基準以上の配置が必要になることがあり、すすめ方に工夫が必要です。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・創意工夫で行っております。 ・それぞれの特性に応じ構造化を進めております。	・構造化には取り組んでいますが個々の特性に応じた工夫はさらに検討が必要です。 ・トイレなど生活のスペースから離れたところの緊急時ブザー設置等について（一部設置あり）検討が必要です。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・創意工夫で行っております。	・限られた空間の中で取り組んでいますが、子ども達に合わせた物品が不足している面があり、検討が必要です。また、場を共有しているため、活動によって場の設定を変えたり、教材等を出し入れする作業が煩雑な面があり工夫が必要です。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・支援室内にプレイコーナーを設置したり、おもちゃを選択できるカードを使用するなど、やりたいことが示せるようにしております。 ・気持ちを落ち着かせたい時などに使用できるコーナーをクラス内に用意しております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・朝のミーティング、夕方の振り返り、月1回の定例会議で業務の確認・改善点等話し合っております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ガイドラインに基づき年1回保護者向け評価表を使用し自己評価を行い、業務改善につなげております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・定例会議やミーティング、個別面接等で職員の意見等を把握する機会があります。	・業務改善に向けた話し合いや検討の時間が不十分なことや、費用や職員配置数等の面で改善に繋がりにくいことがあります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・外部評価は実施していませんが、令和6年度から運営アドバイザー2名を委嘱し、自己評価実施にあたり第三者からの意見を反映することとしました。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・年間計画の他、随時情報を得ながら、外部研修等に参加しております。 ・年数回施設全体での研修を開催しております。 ・事業所内での研修、学習会（不定期）など、内容に工夫しながら設定しております。	・勤務時間や日常業務などで時間の確保が難しく、工夫が必要です。 ・研修を受けた職員だけでなく、受講後、日々の支援にいかすための内容周知、意見交換、検討などを行い、職員の全体的な資質の向上につなげる必要があります。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	・年度内の公表に向け現在準備中です。	・準備ができ次第速やかに公表し、保護者にも周知する必要があります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・児童発達支援管理責任者とクラス担任や各専門職で情報共有しながらすすめております。		

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・児童発達支援管理責任者、クラス担任や各専門職が加わったカンファレンスを定期的実施して検討しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			・各専門職を配置していることを上手く生かした、日常的な連携体制を整えることが必要です。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・標準化されたツールと合わせ、こどもの状況把握をするための独自のアセスメント用紙を使っております。	・用紙等は引き続き検討していく必要があります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・計画作成時にはガイドラインの内容に基づき各項目を確認しながら支援内容を設定しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・利用児の集団の特性に合わせ、プログラムの内容を工夫し、クラス担任同士や、他スタッフが加わり話し合いをしております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・利用児の集団の特性に合わせ、プログラムの内容を工夫し、クラス担任同士や、他スタッフが加わり話し合いをしております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝のミーティングや前日までの話し合い等で確認し、スムーズな連携に繋げております。	・内容や当日の役割分担についてさらに具体的にしていく必要があります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・送迎終了後の夕方に毎日打合せを行い、支援の振り返りをし、気付いたこと、変更等を伝え、共有しております。	・勤務時間や送迎対応等の都合等で全員での実施が難しいため、情報共有についてさらに工夫しながらすすめることが必要です。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・6ヶ月に1回の定期的なモニタリング時に、担任や保護者の意見を聞き取りながら、計画の見直しの必要性を判断しております。		
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・担当児童発達支援管理責任者の他、クラス担任や医療スタッフが必要に応じて参画しております。		
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・こどもの状況により、必要な関係機関と連携をとり支援を行っております。		
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・併行利用児は他園と連絡を取ったり、見学に来てもらうなど、実状について把握し共通理解に繋げております。 ・必要時には関係機関との情報共有、相互理解を図るよう対応しております。	・移行時の支援については随時行っておりますが、今後移行前、移行後のスムーズな情報共有、相互理解の流れを整理していく必要があります。	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・令和6年4月事業所開設のため、今年度末より引き継ぎ書類の作成や連絡を取るなどの形で情報共有を図る予定です。 ・聾学校幼稚部や特別支援学校とは保護者の意向を確認した上で、就学前の相談段階から関わっております。		
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		・児童発達支援事業所連絡会事務局を担当し、連絡会、研修会を年2回開催しております。 ・他の児童発達支援センターや行政担当者との連携し、今後の地域全体での取組について協議しながらすすめております。	今後児童発達支援事業所連絡会内だけでなく、自立支援協議会との連携や、他の連絡会との関係づくりなど引き続き協議しながら進めていく必要があります。	

関係機関や保護者との連携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部研修への参加や外部講師による職場内研修を実施しております。</li> <li>施設内の専門職が参加した合同カンファレンスを月1回実施し、助言を受けております。</li> <li>今年度から運営アドバイザーを委嘱し、外部から助言を受ける機会を設定しております。</li> </ul>		
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立支援協議会子ども部会、医療的ケア児ワーキンググループに参加しております。</li> </ul>		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的に地域との交流の少ない単独の肢体不自由クラスを対象に、地域のこども園に訪問して一緒に行事を楽しむ機会を設定しております。</li> <li>園外療育で地域の遊びの場に出かけるなどしております。</li> </ul>	<p>今年度の地域のこども園への訪問は1回と、回数や対象が少なく、参加できる機会が限られていたことから、今後は、実施回数を増やすなどの検討が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他園との併用利用などをしておらず、地域との関わりの少ないお子さんを対象に、慣れない場所への訪問を苦手とするお子さんが参加しやすい方法を工夫しながらすすめる必要があります。</li> </ul>	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々連絡帳や送迎時に伝えております。</li> <li>必要時は保護者にも来所してもらい支援中の様子を見てもらうなどしております。</li> </ul>		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者を対象とした研修会、学習会を年間計画に基づき設定しているほか、家族支援を適宜実施しております。</li> <li>一部のクラスでペアレント・トレーニングを設定しております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者が参加しやすい設定、希望する内容について引き続き検討していくことが必要です。</li> <li>設定したペアレントトレーニングや学習会以外に、日々の個別相談の中でも具体的な関わり方をわかりやすくお伝えしていく必要があります。</li> </ul>	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>支援プログラムについては現在公表準備中のため、今後説明していく必要があります。</li> </ul>	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリングや個別相談等で保護者との面談の場を設定し、話をしっかり聞く機会を設けております。</li> </ul>		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童発達支援計画交付の際には保護者との面談を実施し、直接支援内容の説明をし、同意を得ております。</li> </ul>		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝や帰りの送迎時や連絡帳または機会があるごとに保護者と話し合いをしております。</li> <li>家族支援として対面で面談する時間も設けております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援中の様子をみながら必要な説明や助言をすることを一部実施しておりますが、今後充実させていく必要があります。</li> </ul>	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所独自の保護者会等はありませんが、学習会や懇談会、親子での園外療育、行事等の機会を通し、保護者同士交流の機会を設けております。</li> <li>必要時には関係の親の会の紹介等をしております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>きょうだい同士の交流については現在取り組んでおりませんが、保護者と合わせてきょうだいに参加できる機会をつくることを考慮しながら、行事等の内容を検討します。</li> <li>今後個別相談の中で、きょうだいについての相談対応や、きょうだい同士の交流についてのニーズ確認をすすめます。</li> </ul>	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>月1回のクラスだよりを発行している他、随時お知らせ等を配布しております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPやSNSの活用は今後の課題です。</li> </ul>	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年職員全員に研修を実施し、十分留意しております。</li> </ul>		

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・お子さんそれぞれのコミュニケーション方法を確認しながら対応し、表情や動きを含め小さなサインを見逃さず気持ちを受け止め理解するよう努めております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・行事への地域住民招待は、感染や安全対策のため実施しておりませんが、施設見学や実習生の受け入れは随時行っております。	・事業所の活動内容を紹介するパネル展示をするなど、安全に実施できる方法について今後検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			・各マニュアルを基に、はぐみに即した具体的な動きを確認していく必要があります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・地震、火災、不審者等の想定避難訓練を月1回行っております。 ・BCP研修を年1回全職員で実施し、非常災害時の対応について学んでおります。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・必要なお子さんについては事前に医療状況、事業所での対応、緊急時の対応など確認しております。	・予防接種については全員の状況を確認していないため、今後検討していく必要があります。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・食物アレルギー対策マニュアルに基づき対応しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・各種マニュアルに基づき対応するにあたり、詳細な対応や役割分担について、はぐみに即したものを整理しながらすすめております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・保護者が自由に閲覧できるように各種マニュアルなどを設置しております。 ・おたよりなどを通じて、避難訓練の実施などの取組内容を家族へ知らせております。	・保護者の来所が少ない家庭もあるので、取組内容についての周知の仕方を工夫していくことが必要です。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事業所内で速やかに情報共有、対策検討をしております。 ・同施設内の全事業所間で共有しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・年1回全職員を対象とした研修会と、虐待に関するアンケート調査を実施し、対応を振り返る機会としております。 ・外部研修に参加しております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・年1回全職員を対象とした研修会を行い、職員の理解を深めております。	・該当はありませんが、やむを得ず身体拘束を行うことについて、組織的に事前の検討が必要です。	